

運輸安全報告書

2020年度

京成タクシー成田株式会社

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

京成タクシー成田では、平成18年10月に導入された「運輸安全マネジメント」に基づき、輸送の安全に関する基本的な方針その他輸送の安全に係る情報を以下のとおり公表し全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たして参ります。
又、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (2) 当社は、輸送の安全に関する「計画の策定・実行・チェック・改善（Plan:Do:Check:Act）」を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行するほか、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。又、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する目標（安全目標）及び目標の達成状況

安全目標：令和2年度 安全目標「有責事故ゼロ」

(1) 令和2年度結果

今年度の全旅客自動車運送事業における有責事故件数は、前年度に対して減少はしたものの、安全目標を達成することができませんでした。

(2) 令和3年度目標

今年は、昨年の事故傾向等を分析し、引き続き「有責事故ゼロ」という目標を設定し、ドライブレコーダーの映像を取入れた安全指導等や添乗指導などを行ない、有責事故の撲滅に努めます。

3. 事故に関する統計（自動車事故報告規則第2条に規定する事故）

令和2年度 0件

4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

安全管理規程に定める別表1のとおり安全管理連絡体制を構築しております。

5. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有いたします。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを確実に実施いたします。

6. 輸送の安全に関する計画

- (1) 当社は、輸送の安全に関する目標を達成するため、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成いたします。
- (2) 計画の作成に当たっては、以下の点を考慮すること等により、現状の問題点を把握し、より輸送の安全の確保に資する改善効果の高いものにします。
 自社の人材、車両、施設、交通の状況等の現状を把握します。
 過去の事故、過去の計画の実施状況を踏まえたものとします。
 運転者の声を汲み上げる等、現場を踏まえたものとします。

7. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

輸送の安全性向上を目的として行った設備投資は次のとおりです。

(1) 令和2年度実績

- ・ 車両の代替 TAPAN TAXI : 7両 (衝突被害軽減装置搭載車)
 ハイエース : 2両 (内1衝突被害軽減装置搭載車)
 貸切バス : 1両 (小型:衝突被害軽減装置搭載車)
 ドライブレコーダー設置
- ・ タイヤ費用: 常用タイヤ入替、スタッドレスタイヤ入替
- ・ コロナ感染防止対策: 貸切バス車両への光触媒加工 (3両)

(2) 令和3年度予算

予算額:	61,903 千円
------	-----------

車両修繕費		33,600 千円		備考
費用 明細	タイヤ代 (バス)	(スタッドレスタイヤ含む)	2,040 千円	
	タイヤ代 (タクシー)	(スタッドレスタイヤ含む)	2,510 千円	
	その他修繕費		29,050 千円	
車両償却費		28,303 千円		備考
費用 明細	新車代替 (タクシー)	(JAPAN TAXI)	3,410 千円	安全装備: 衝突被害軽減ブレーキ装置
	新車代替 (バス)		0 千円	
	その他車両償却費		24,893 千円	

8. 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

安全管理規程に定める別表2のとおり、事故・災害が発生した場合や輸送の安全に係る情報の連絡網を整備し、迅速な対応が取れるよう体制を確立しております。

9. 安全管理規程・安全統括管理者

安全管理規程: 別紙のとおり安全管理規程を制定し平成25年10月1日より施行しております。

安全統括管理者: 営業部長 藤田 信一

10．輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

(1) 教育計画

運行管理者及び補助者については、現場の意見を取り入れた本社教育を年1回3班に分けて行います。

乗務員の集合教育については、年間計画を策定し営業所単位に全乗務員を対象に行います。

全乗務員に適性診断を受診させ、受診後本社にて診断結果等に基づき指導いたします。

事故惹起者については、ヒヤリハット(ヒヤッとした、ハッとした体験)情報と事事故例等を基に、安全運行に対する意識を再認識させ、運転士へのフォローアップ教育を実施いたします。

(2) 安全運動

安全運動の取り組みとして各強化月間に、社長以下役員による早朝点呼の査察・指導及び職場巡視を行い輸送の安全性向上に努めます。

強化月間は次のとおりです。

春の全国交通安全運動(4月上旬)

夏の交通安全運動(7月下旬)

秋の全国交通安全運動(9月下旬)

年末年始輸送安全総点検(12月上旬～1月上旬)

(3) 事故防止対策

社長以下管理職にて定期事故防止対策会議を開催し、事故原因の究明、再発防止に取り組んでおります。

営業所長と労組役員による事故防止会議を開催し啓蒙活動を行い、旅客のシートベルト着用率向上を図るなど、輸送の安全性向上に努めております。

事故審議会(労使)による事故原因の究明及び事故防止対策会議を随時実施いたします。

11．輸送の安全に関する内部監査の実施

当社は、安全マネジメントの実施状況を点検するため、適切な時期を定めて輸送の安全に関し、内部監査を年1回以上実施いたします。

以上